

## 春日部市インターネットモニター第3回アンケート

テーマ：市政への参加について

回答期間：令和5年7月10日～7月20日

回答者数：84人（回答率84%）

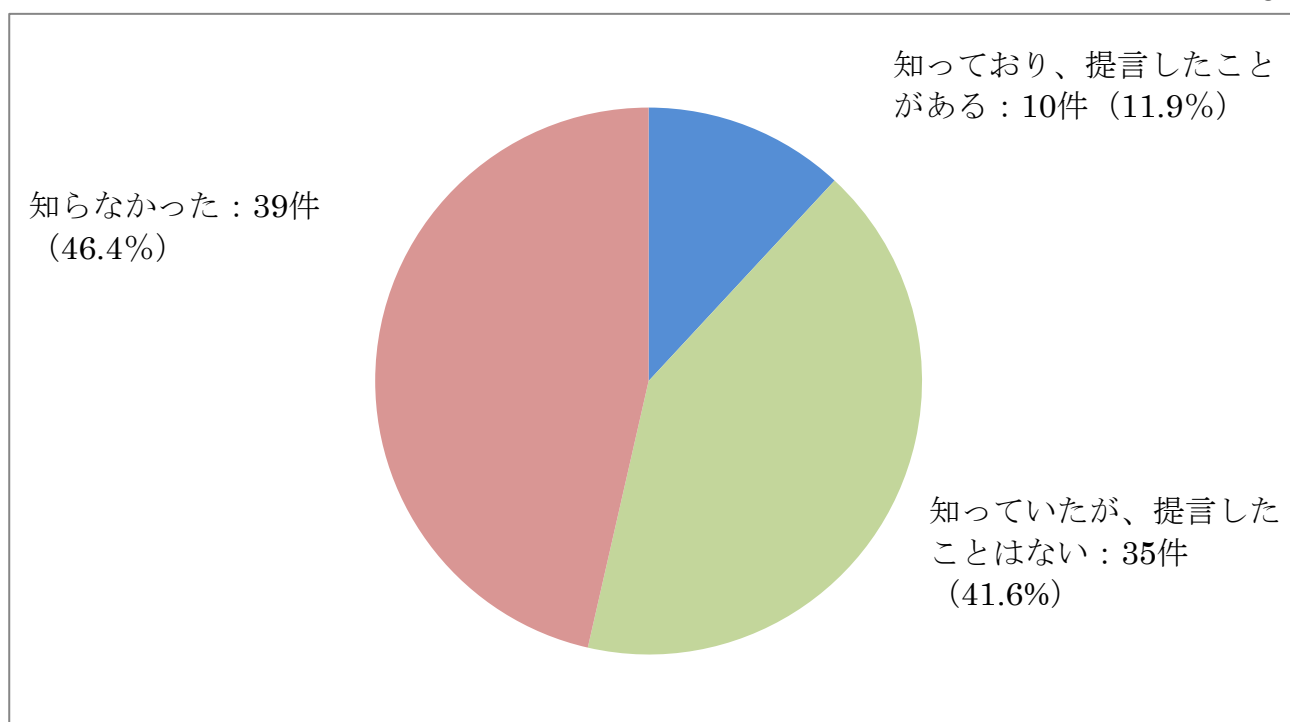
※グラフの「n」は、各設問の回答者総数を示しています

※各回答項目の割合（%）は、端数処理の関係上、合計が100%になっていません

※自由記述の回答は、ほぼ原文をそのままに掲載しています

### 問1 「市長への提言」を知っていましたか

n=84



図：問1 回答結果

知っており、提言したことがある：10件

知っていたが、提言したことはない：35件

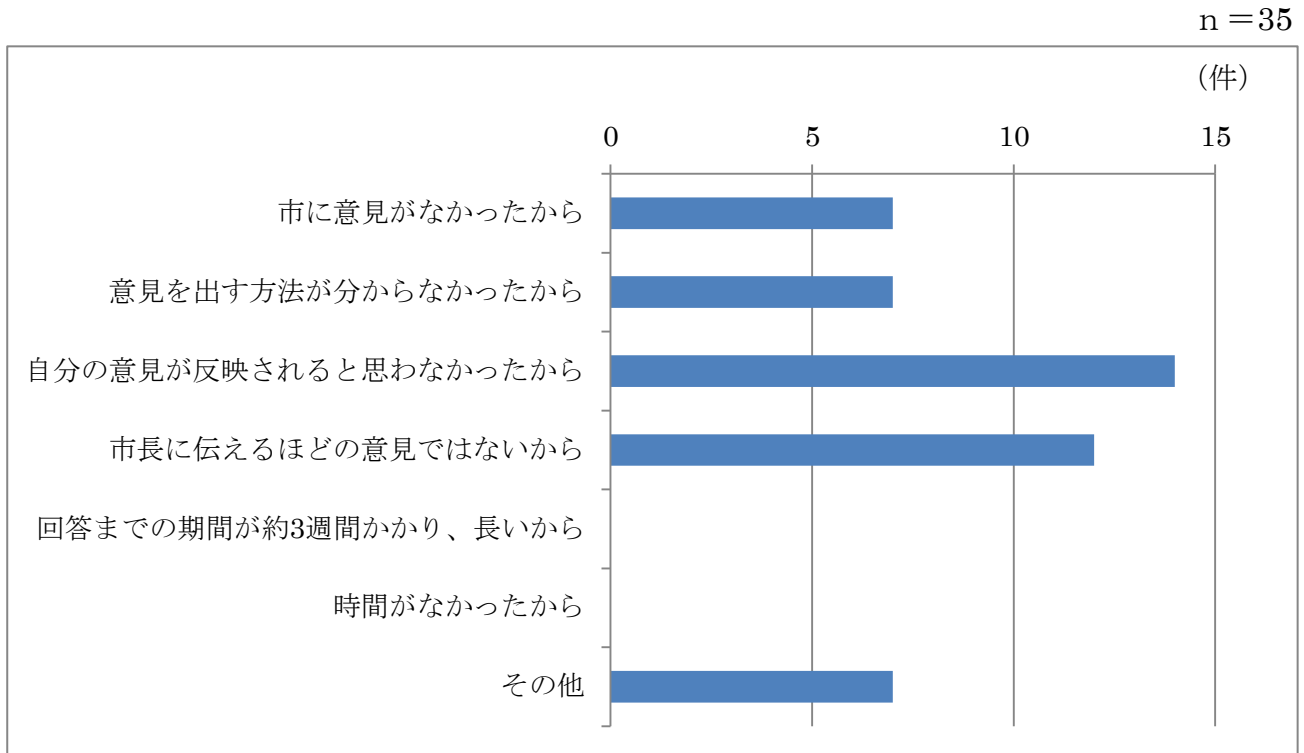
知らなかった：39件

問1-A 問1で、知っており、提言したことがあると回答した人に伺います  
「市長への提言」を利用して、感じたことや思ったことを教えてください

n = 10

- ・市長への意見を直接言えるのでとても良い
- ・以前子供が毎日遊んでいた公園に、ある日突然ボール遊び等禁止の看板とサッカーができないよう紫陽花の花壇が作られました。  
確か市長へどのような経緯かお手紙を書いたような記憶がありますが、特にお返事は無く投書は無駄な事だと感じました。
- ・通りいっぺん等で、失望した。各課に回すだけ。市長自身が手書きするべき。どんな思いで選挙に臨んだのか忘れてる。本気でやろうとしてるなら、提言にヒントある。
- ・道路の状況が悪いことを提言したら、すぐに担当の部署の方から連絡を頂いた。早さに驚いたし、きちんと見てることに興味した。正直なところ、どうせ見ていないのではないかと思っていた。
- ・返事をくれるので、きちんと見てくれてるんだと思いました
- ・思いのほか、内容を真摯に精査してもらえ、すぐに実行可能な提言については、いつ、何を、どこへ、どうしたかを明確に返信してもらえるので、市への信頼感は増した。  
埼玉県知事行っている、事務的な形骸の取り組みとは雲泥の差と感じた。
- ・改善して欲しいことをお願いのために書いているがほとんどシティセール課さんの回答だと疑問を感じている
- ・市民が意見を伝えられる場所があっただけいいと思った
- ・対応が素早く、提言に送って良かったと思いました。
- ・市長からの通知が届いたが、返答に時間が掛かると感じた。また失礼ながら、本当に市長が考えた文面なのだろうかとの疑問も抱いた。  
提言内容については、端的に短く今後慎重に検討します。との内容にとどまり何ともモヤッとした。

問 1-B 問 1 で、知っていたが、提言したことはないと回答した人に伺います  
 提言したことがない理由はなんですか（複数回答可）



図：問 1-B 回答結果

市に意見がなかったから：7件

意見を出す方法が分からなかったから：7件

自分の意見が反映されると思わなかったから：14件

市長に伝えるほどの意見ではないから：12件

回答までの期間が約3週間かかり、長いから：0件

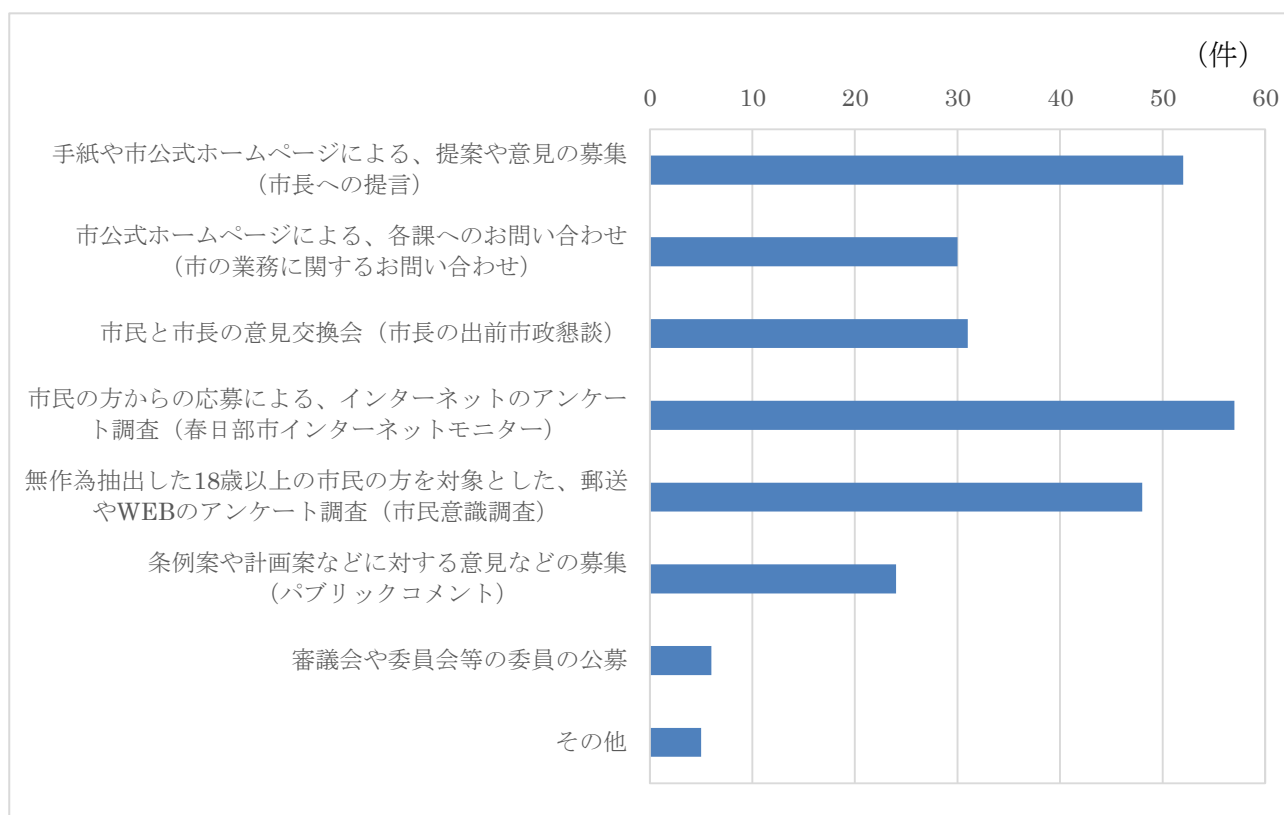
時間がなかったから：0件

その他：7件

- ・伝える強い意志が無かったので
- ・なんとなくの希望があっても、意見をまとめるまでは出来ていないので
- ・出しても叶えてもらえない、聞いてもらえない、時間がかかると思うから。
- ・この制度を使うほどの意見を市に言うことはないから。
- ・意見をだしても、提出者全員への回答が責任をもって返信が期待できるかどうか不明なため。
- ・「市長へ提言」できるような立場に無いと思うからです。まず各担当部署に依頼して交渉して、それでも無視されたとか返答がないとかに至って初めて 市長へ直訴に及ぶのではないのでしょうか。
- ・匿名で出来ないため

問 2 市民の方からの提案や意見、要望などを市政に反映させるためには、どのような取り組みを充実させていくべきだと思いますか（複数回答可）

n = 84



図：問 2 回答結果

手紙や市公式ホームページによる、提案や意見の募集  
（市長への提言）：52 件

市公式ホームページによる、各課へのお問い合わせ  
（市の業務に関するお問い合わせ）：30 件

市民と市長の意見交換会  
（市長の出前市政懇談）：31 件

市民の方からの応募による、インターネットのアンケート調査  
（春日部市インターネットモニター）：57 件

無作為抽出した 18 歳以上の市民の方を対象とした、郵送や WEB のアンケート調査  
（市民意識調査）：48 件

条例案や計画案などに対する意見などの募集  
（パブリックコメント）：24 件

審議会や委員会等の委員の公募：6件

その他：5件

- ・要望に誠実に取り組む。出来ないにしても。
- ・SNSの担当を置き、リプライやコメント、DMなどで意見をもらう
- ・市政への一言提言などを、市役所来庁者に無記名で意見等を募れば良いと思う。
- ・今のままでよい。十分に市職員は市民の意向などを聞いてくれている。
- ・提案や意見、要望があった内容に基づいたアンケート調査を市民へ提供実地したら、広く反映させる事が出来ると思う。

問 3 より多くの市民の方が、市政に関心を持ち、積極的に参加できるようにするためには、どうしたらよいと思いますか

n=76

- ・市からの情報発信を多くする
- ・今までの経緯から、年寄り以外は市政に対して諦めの念しか持ち得ないので、積極的に参加しようとは思わない。そのため、これからきちんと年寄り以外にも向き合うことで関心を持たせることが出来ると思う。小手先の方法ですぐに興味を持たせることは難しいだろう。今までの市政があまりにも悪かったことを鑑みて、それを払拭してからでないともむずかしい。
- ・もっと気軽に春日部市政について、伝えることができる場所、または対談できる場が欲しい。
- ・市民まつり等各市のイベント時において、意見アンケート
- ・市長への提言制度が周知されていないように、ホームページや広報など、市政に関することをわかりやすく、目立つように掲載しては？  
公民館、図書館、学校など公共施設にもミニ新聞的なものを置いて、子供からお年寄りまで目に付くように置いてみるのはどうでしょうか。
- ・住民の意見についての回答を広報に掲載する等の市長からの返信。  
一方的に意見を述べても、その後の連絡が無ければ読んだのかもわかりません。
- ・市長や議員が部屋に閉じこもってはダメ youtube で市議会の模様を晒す
- ・漠然と意見をと言われても、多くの人は何について言おうかというところでまず迷うと思う。  
毎月ひとつにテーマを絞って、問いかけられるなどだと、考えやすいような気がする。(インターネットモニターの質問はテーマが絞られていて記入しやすい。)
- ・困った時の相談窓口があると、相談しやすい
- ・寄せられた意見が目に入るようにする。例えば、役場のモニターに流すなど。身近な雰囲気創れると良いと思います。
- ・もっと春日部に興味をもってもらえるといいのでアンケートとか多いほうが良いと思います。SNS だけではなく紙での案内も大事だと思う。特に今は高架工事で東口は特に何もなくなってしまって仕方がないことではありますが不便でもあり活気的なものがなくなってしまいました。
- ・線路の高架化や市民プールなどの要望についてもっと具体的に市報等で発信する。
- ・特に様子がなくても気軽に立ち寄れる建物に、気軽に言葉が発せられるようになったら。
- ・開かれた春日部。市長も議員も市職員も顔の見える形に
- ・市が説明する場を増やして欲しいです。市政がどうなっているかは漠然としていて、市民が調べ考えをまとめ市に提案するのは負担が大きいです。気軽さがありません。市の部署毎に何かしらの市民向けテーマはあるはずで、テーマを絞った案内会を開き、市制大学的な講習&懇談の場を設けて頂いたら、市政を楽しく学び、得た情報を深く考えることができますし、細かな内容を担当者から聞けば興味もわくと思います。市の方から市民の知りたいに応える施策と、気軽に参加できるような機会を望みます。

- ・提言に誠実に答える。命をかけるつもりで。窓口行っても意欲感じられない。知識がない職員がいてガッカリ。
- ・私は10年に渡り継続してシニアの方々のデジタル活用支援とコミュニケーションの共有とコミュニティーの活性化を目標にパソコンサークル(2グループ)をサポートしております。受講料無料のボランティア講師として活動 こうした市民活動への評価も少なく理解も足りない様にも考え思いながら!! ここに市民参加への意欲を評価される様な市政であって欲しい
- ・「声を上げれば届く」とわかってもらうことが大事だと思う。若い世代では、どうせ見てない、どうせ聞いてないと思っている人が多いので、SNSで声が届きやすいことをアピールすればいいと思う
- ・意見を出す人の大部分は①よほど建設的か②よほど批判的か③市から選抜されているような人達のような気がする。内容によっては幅広く参加できるようなやり方を考えてほしい。
- ・「市長への提言」は非常に良い試みだと思います。但しこの提言が一方向であっては意味がなく、提言に対する回答や取り組み状況等が判る双方向である必要があると思います。提言したことがどのように反映されているのか、それを見ることができれば、より多くの市民が市政に関心を持つと思えます。
- ・各イベントや各窓口業務、市民との関わりがあった際に任意でのアンケート(QRコード読み取り等)に協力を仰ぎ各意見や申立てを集約。各種サービス向上や新規施策への反映など業務参考にする。市政に対し言いたいことは沢山あるけれど、どうせ反映されないし、面倒だという方が大半です。反映されるかは別として、気軽に意見を言える場を提供するだけでも市政への思いが少し変わると思います。
- ・憩いの場、休憩場所を作り意見箱をせっちする
- ・応募型は既に関心がある人だけなので、それよりも無作為にアンケートを依頼したほうが関心を持つきっかけができると思う。
- ・身近に感じる楽しく参加できるイベントなどの取り組みを行うと良いと思います。
- ・気軽に問い合わせをしたり、意見を言える場(ネット掲示板など)を設ける。また、自分から意見や要望を訴えない市民にもアンケートやモニターで意見を聞いてみると良いと思う。
- ・「市が何をやろうとしているのか」の発信を積極的にする。取り組みの該当地域の住民は直接的に影響するので情報も多くなるが、該当しない地域は情報も少なく、気づけばことが進んでいるように思う。まあ、別にいいんですけど。市長はTwitterで活動を発信してるが、他の職員もしくは部署としての発信があっても良さそう。
- ・YouTubeチャンネルやSNSの活用  
図書館、支援センター、保健センター、駅等市民がよく活用する場所への意見箱の設置
- ・情報の発信媒体を紙やホームページだけでなく、SNSなど時代にあったものを使う。
- ・ホームページ、または、春日部市メール等によるアンケート、または宣伝
- ・気軽にラインから提言できるようにする

- ・ホームページや広報などから情報をもらう人が多いと思うので、情報を発信して興味を持ってもらうのがいいかと思います。
- ・市民の小さな声を無視しない。道路に対して苦言を申ししたが、回答がない。そこに生活してる人の声を反映することによって、市政を信頼し、参加しようという気持ちになる
- ・市の行事に参加すると、何となく身近に感じられます。できるだけ多くの人が、参加してみたいと思えるような、企画を楽しみにしております。
- ・議員の活動内容をホームページにも載せていただくと身近になり興味をもつと考えております。
- ・短期的なウケ(先代市長はこればかりだった印象)を狙わず、長期的な視点で市の発展を目指して欲しいです。そのために、一時的に部分的に停滞が見られたとしても、その理由がきちんと説明されれば、大多数は納得すると思います。
- ・イオンや駅などでチラシやイベントなど
- ・気軽に意見や要望を伝えられる場があり、またそれが現実に反映されることがあれば関心を持てるかもしれないと思います。
- ・市から積極的にPRして欲しい。色々なお知らせが少ないので、何をしているのか、知らない事が多い。
- ・関心を持てるような市にする。
- ・市政へのアクセスを簡単に気軽に行える環境をきちんと整備することと、その事を浅くとも広く広報し続けること。

現在の市政への提言は優れた施策だが、認知度と用紙等の設置場所がまだまだ及第点かと思う。

- ・もっと、市政しかり、春日部の色んなことについて広報が必要。  
公式LINEの内容をもっと見たくなる内容にするなど、もっと色んな世代に知ってもらう努力や工夫をしなければ、市政には興味はわかないと思う。
- ・このインターネットモニターのように、ちょっとした謝礼や、市内で使えるポイントがもらえる…などのお得があると、意見をしよう、参加してみようという気がおきやすいと思う。
- ・夏祭りや藤まつりなど、イベント時に市の広報を行う。新しい施設の情報や他のイベント、市の魅力を発信する。既にやっているとしたら、アピールが足りないので人の目に留まる工夫をする。  
若手職員の意見を採用する。上司のお伺いを毎回たてるのではなく、裁量権を与え広報活動を考えてもらう。
- ・どこの自治体でもそうだが、広聴・広報にはずいぶんエネルギーを使っている。日本人らしさと言えばそうかもしれないが、過度に細かく意見聴取をしようとしなくてもいいのではないかと思う。今のままで充分。
- ・市民に対する積極的なアピールしかないと思います。参加しやすくする工夫も重要だと感じます。
- ・回覧板などではなく、春日部市に2ヶ月に一回くらい雑誌みたいな形で1世帯に1冊春日部情報誌みたいなものを作って配る。
- ・楽しく市政のことを知れるイベントの開催



- ・若返る街の印象をもってもらえるような取り組みがあると、興味をもってもらえるかもしれません。
- ・始まったばかりです。やれる事をじっくりやって行くことです。市民と市長の意見交換会は、やるべきです。
- ・インターネットモニター議員を発足してもいいのでは無いかと思う〇〇議員にもなったことがあるが何処まで受け入れてくれているねかがイマイチ理解でき無くて不安意見言えれば勝手に使われたこともあるなので実現して欲しいです期待しています何卒宜しくお願い申し上げます
- ・定期的な意見交換会を実施する。年代別にどの年代も参加して、また男女、障害を持っておられる方など幅広く参加いただくよう工夫する。広報で大々的に告知することが重要ではないか。
- ・市長への手紙で以前、弱視スクリーニング検査についてお伝えさせていただいたことがあります。その際は、担当課の意見というレベルで取り扱われてしまった印象があります。組織も大きいので全ての意見を市長まで届けていたらきりが無いのかとおもいますが、市長へ直接意見を伝えられたらいいと思いました。直接対面する方法以外にも SNS で気軽に市政に参加できたらありがたいです。
- ・分かりやすく、見やすく簡単に参加出来ることが前提だと思う。何かをするとポイントが貯まったり少しでも得するシステムだったらやってみようかな?という人も増えそう
- ・毎月の広報に載せ、提言できることを広く知らせる。正直、市のホームページは事務手続きなどでしか見に行く機会がない。積極的に参加、提言しようとは思わないので、市役所から手紙が来たら驚いて中身は見るし、返送しようという気持ちは起こる。勿論メールなどできた方が気軽ではある。
- ・広報さえ読まない市民もいます。魅力的なイベントを行なうなどで、市の活動を知ってもらうよう努めた方がよい
- ・今はなんでもネットからできるので、ネット上で完結すると見やすく、意見も送りやすいです。
- ・インターネットによるアンケートモニターをもっと拡充するとよいと思う。(モニターの人数を増やす、アンケートの回数を増やす)  
また、市内の小中学校で、市政についてもっと身近に感じてもらうような授業や講演を行い、子供の時から関心を持てるような環境を作っていくと良いと思う。
- ・もう少し、窓口を広く知らしめて、ハードルを低くする。
- ・一時的な意見募集でなく、ある一定期間、特定のテーマについて議論できる様な制度を設けて、市民の多様な意見を取り入れて、その結果を市政に積極的に反映させてもらいたい。
- ・そのような制度があることを広く広報する。教育の場で伝える。
- ・市政に提言をすると、自分の生活がより良くなると信じられる対応を、市役所の方がされることだと思います。
- ・広報誌などでアピールするのもよいですが目にする場所も  
お年寄りには病院  
若者はネットなど年齢層にあわせて考えた方がよいです

- ・市長がいろんなイベントに参加して、市政に興味をもってもらうのがいいと思います。
- ・市役所主催のイベント開催をしたら良い。  
学校の文化祭で地域への PR をするような事を土日の 2 日間等を利用し、各部署の認知度が低い役割事業や市民に知って貰いたい情報を提供する。  
市の公的機関、出張所や公民館含め市民の困りごと解決マップ等作成し市民に配布したらどうか。  
市政の職員が出前授業を展開したら良いと思う。
- ・選挙の際に掲げた公約が達成されているか逐一確認・報告する  
気軽に参加できるような意見交換会を行う  
ふるさと納税のアピール
- ・提案したあとのフォローがしっかり有れば提案する気になる
- ・市の主導で「こんなことをやりました。」「こんなことができました。」をきちんとわかりやすく発信してください。  
ニュースリリースとして発表されてるのは マスコミ各社へ対する形式的模範応答でしょ？  
マスコミ抜きにして 市が直接 市民へ状況を発信するのは 自然なこと。  
過去はマスコミを通じて以外 方法が無かったから そうなっていたわけで  
現代は 市の webPage や 各種 SNS 通じて 直接、即時に発信できるのです。  
月 1 回とか 決めないで、報道機関を通じてとか決めないで、状況を随時知らせていただければ必然的に関心も積極性も高まるものと思います。
- ・形は様々ありますが、色々な形でとにかく先ずは市民からの声を集めて審議や実現する優先順位を決めていくこと、その過程においても市民に参加してもらうモデルケースを作っていくのもいいのでは。
- ・広報は自治会に入っていないと取りに行く必要があるので、自治会に入っている関係なく、春日部市民の家庭に市が取り組んでいる冊子を配る。  
文字だけだと抵抗があるので、画像やイラストを使って、読みやすいものにする。
- ・子どもでも分かるような市政の透明性、細かい公表。  
市民の困っていることに、耳を傾けているという実績がもっと作れば、積極的に参加したくなる。
- ・若い世代でなかなか自分が居住している市のホームページなどを自主的に閲覧したりしないので、例えば学校や商業施設に試験的に気軽に意見を入れられる市への意見箱を設置したり、駅やバス、コンビニ等にも目につく印象的なデザインで募集や参加を募るポスターや掲示物を設置したら感心を持ってくれそうだなと思いました。特に、QR コードを活用してインターネットから提案や意見を送れたらとても便利で気軽だと思います。
- ・若い世代に会いに行き、話をし意見を聞くべきだと思う。
- ・市長が様々な場に登場し市政を訴える。市長の本気度が見えれば好感度も上がり市政への参加意欲が湧くと思います。
- ・誰でも意見を記入できる掲示板を役所内に作ってみる?市長 1 人宛だと緊張するかもしれないから誰でも読める位置に置いてみる。

- 市長への提言で言えば、匿名でとは言いませんが、住所名前も入力してとなると少しハードルが高いような気がします。私は、税金を **PayPay** で支払えたらと思って市長への提言に投稿しようと思ったのですが、住所も名前も入力となると...じゃあいいやとなっていました。。結果今使えるようになったのでそれはありがたかったです。例えば春日部市中央 **6** 丁目のみで地番なしや、名前も苗字のみなど、連絡が取れる番号、メールアドレスは必須だとは思いますが。  
駅やショッピングモールなどで広告を出す。上記のアンケート等 **QR** コードとかなら待ち時間にアンケートは回答できるかなと思います。
- 市長への提言を始めとした、市政への参加について、掲示、HP、SNS等色々な媒体でアピールをする。